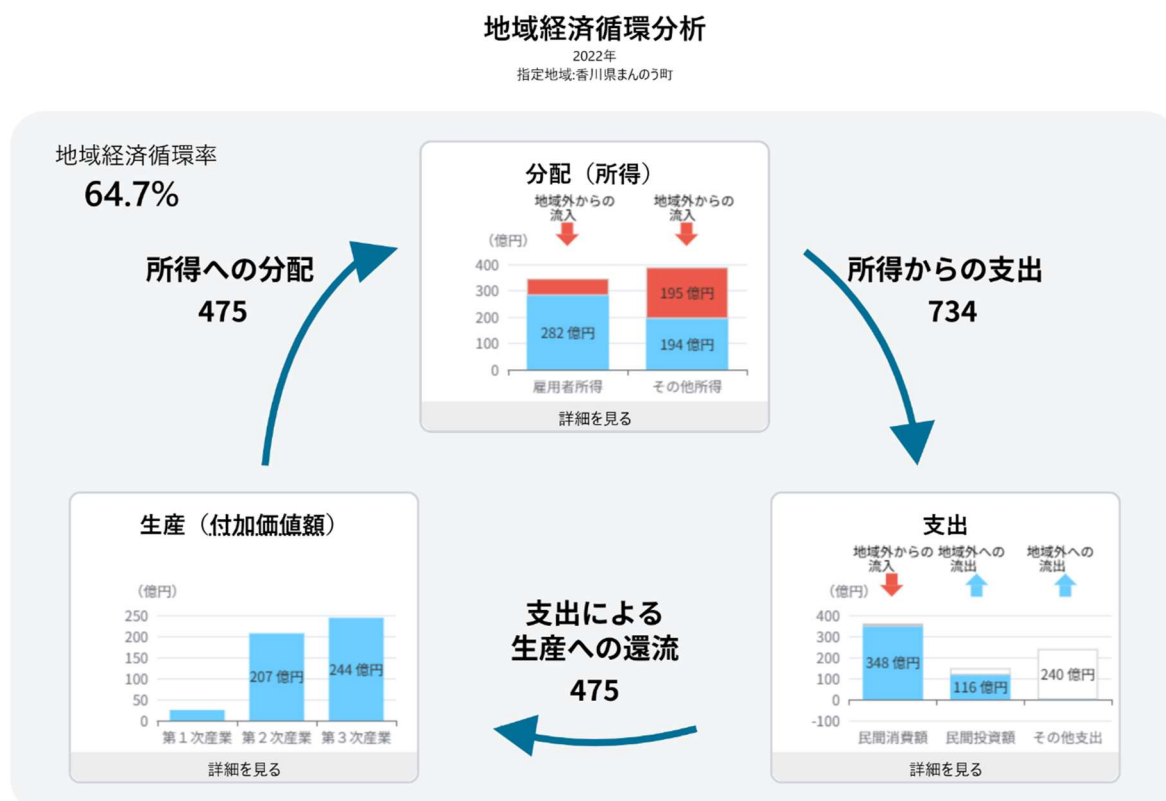


# 令和7年度 ビッグデータからの経済動向調査

「RESAS」を活用した地域の経済動向分析

まんのう町商工会

(1) 2022 年地域経済循環分析



「地域経済循環率」とは、生産（付加価値額）を分配（所得）で除した値であり、地域経済の自立度を示している。（値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。）まんのう町は64.7%で近隣の琴平町72.1%、綾川町76.0%、善通寺市86.5%よりは自立度が低いことがわかる。

「雇用者所得」とは、主に労働者が労働の対価として得る賃金や給料等により構成される。「その他所得」は、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の所得により構成される。

「その他支出」は、「政府支出」+「地域内産業の移輸出-移輸入」により構成される。例えば、移輸入が移輸出を大きく上回り、その差が政府支出額を上回る場合（域外からの財・サービスの購入を通じた所得流出額が政府支出額よりも大きい場合）は、「その他支出」の金額がマイナスとなる。

「支出流出率」とは、地域内に支出された金額に対する地域外から流入・地域外に流出した金額の割合で、プラスの値は地域外からの流入、マイナスの値は地域外への流出を示す。

○ 付加価値額

2022年 指定地域:香川県まんのう町



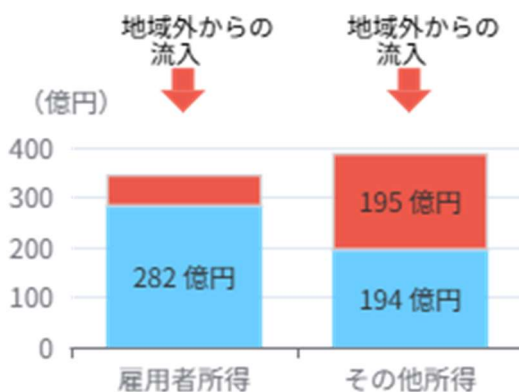
	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額 (一人当たり)	235 万円	862 万円	702 万円
付加価値額 (一人当たり) 順位	934 位	927 位	1,470 位

※ 順位は全国 1,741 市区町村におけるランキング

第3次産業の付加価値額が高いが、一人当たりで見ると第2次産業が高く、全国順位でも第3次産業より高くなっている。

○ 分配 (所得)

2022年 指定地域:香川県まんのう町



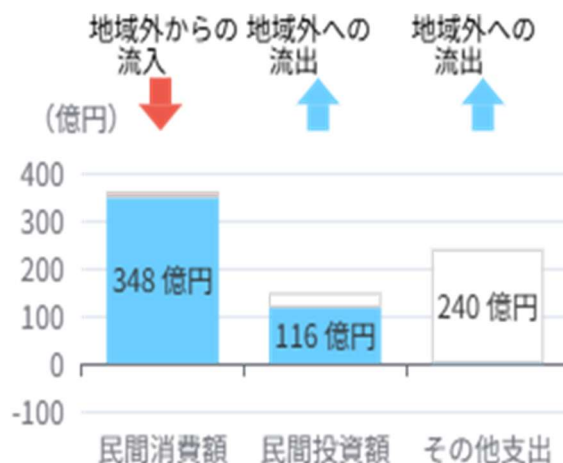
	雇用者所得	その他所得
所得 (一人当たり)	206 万円	232 万円
所得 (一人当たり) 順位	1,196 位	807 位

地域内の住民・企業等が稼ぐ所得より、地域の産業が分配する所得が少ない場合は、その差額が赤色で表示され、地域外から所得が流入していることを意味している。

まんのう町では、その他所得は地域外からの流入が多く、総額では雇用者所得を上回っており、順位も中位より上に位置しているが、雇用者報酬は全国順位では下位に位置している。

### 支出流出入率

2022年 指定地域:香川県まんのう町



	民間消費	民間投資	その他支出
支出流出入率	3.7%	-21.6%	-100.8%
支出流出入率順位	673位	1,021位	1,402位

「支出」は、住民の消費等を示す「民間消費額」、企業の設備投資等を示す「民間投資額」、政府支出、地域内産業の移出入収支額等を示す「その他支出」で構成される。

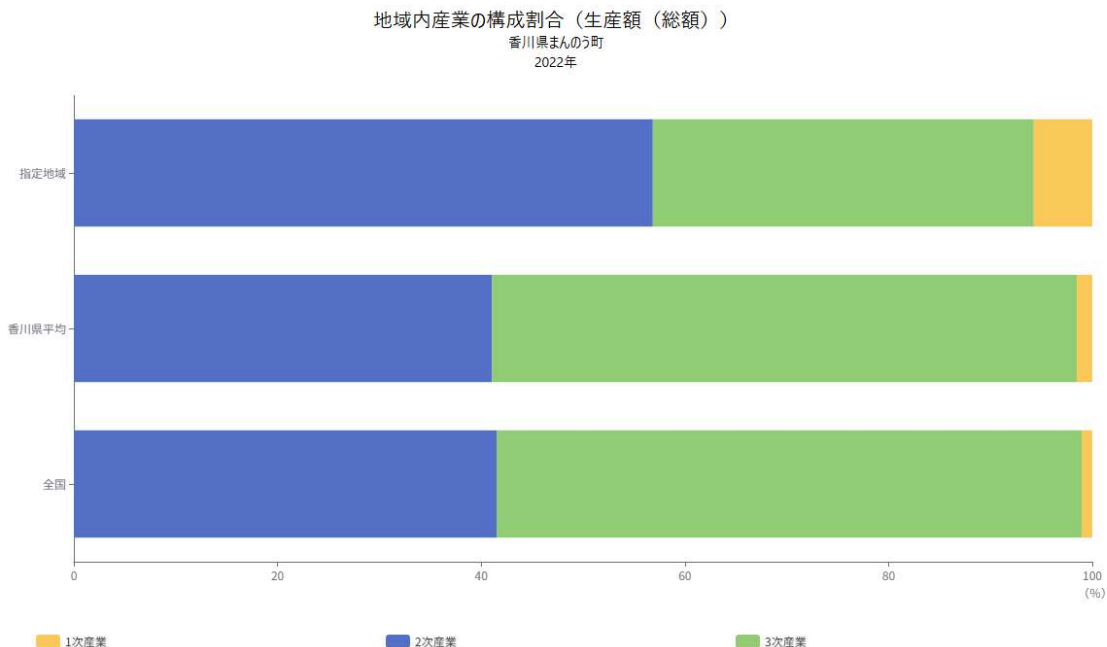
地域内の住民・企業等が支出した金額より、地域内に支出された金額が少ない場合は、その差額がグラフでは空白の四角で表示され、支出が地域外に流出していることを意味する。

逆に、地域内の住民・企業等が支出した金額より、地域内に支出された金額が多い場合は、その差額が赤色のグラフとして表示され、支出が地域外から流入していることを意味する。

まんのう町で民間消費は3.7%が流入となっているが、その他支出は地域外に流出している。

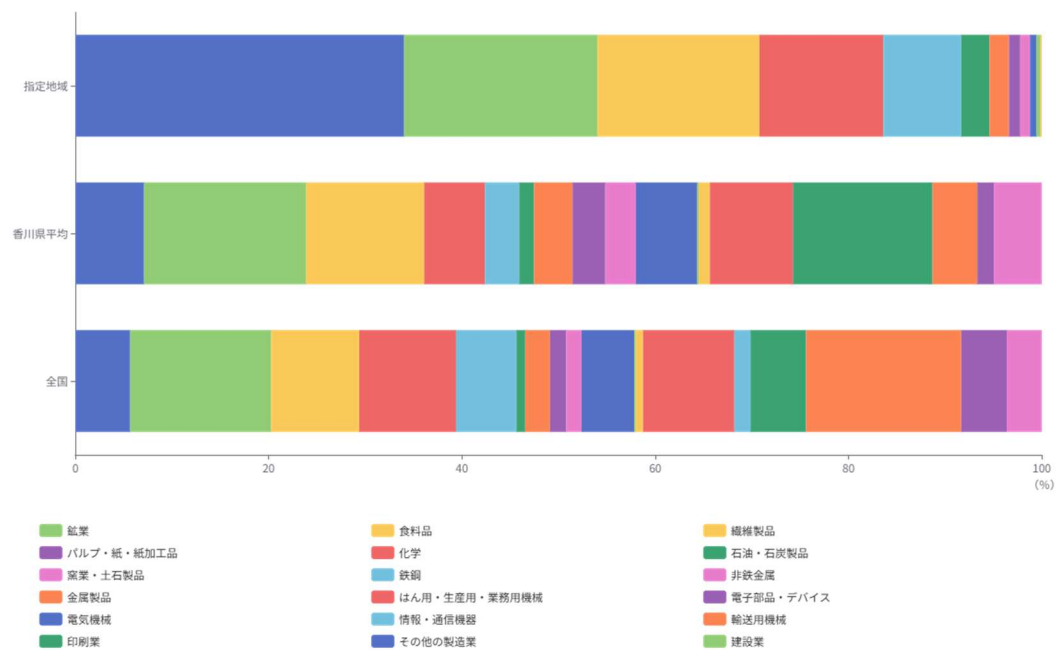
(2) まんのう町の産業構造

産業構造について、生産額で見ると、まんのう町は全国、香川県平均と比較して、2次産業の割合と1次産業の割合が高く、3次産業の割合が低い。



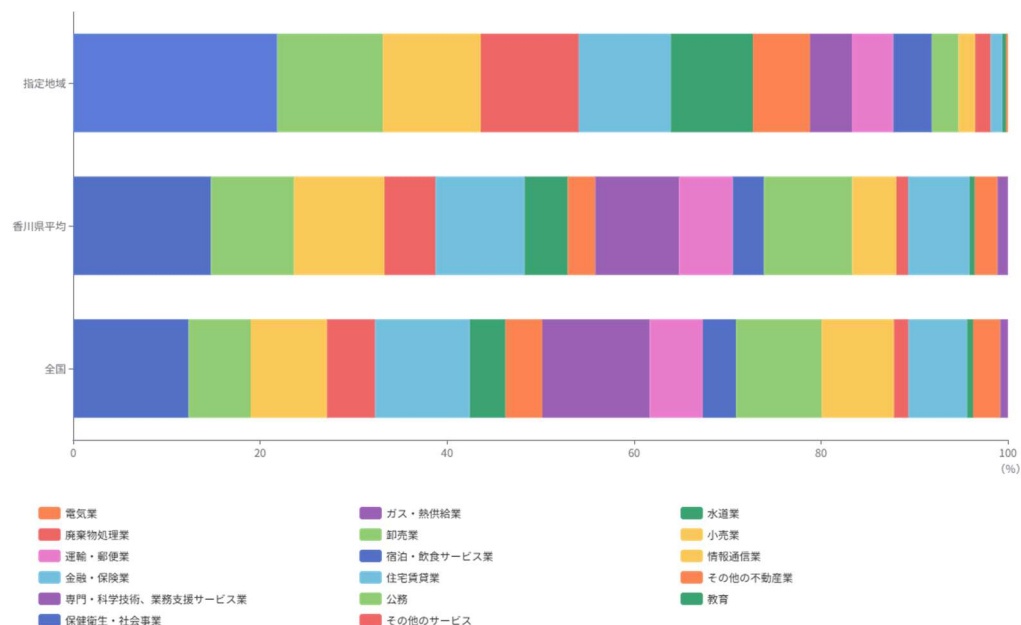
2次産業の内訳を見ると、その他の製造業、建設業、食料品、はん用・生産用・業務用機械、鉄鋼の順に多い。

地域内産業の構成割合（生産額（総額））＜産業ごとの内訳：2次産業＞  
香川県まんのう町 2022年



3次産業の内訳を見ると、保健衛生・社会事業、公務、小売業、その他のサービス、住宅賃貸業、教育の順に多い。

地域内産業の構成割合（生産額（総額））＜産業ごとの内訳：3次産業＞  
香川県まんのう町 2022年



「売上高」「事業所数」「従業者数」の視点から見た場合、以下の通りである。

#### 売上高

まんのう町	: 62,532 百万円
香川県	: 8,249,124 百万円
全国	: 1,693,312,591 百万円

製造業の割合がなり高く、次いで建設業が高い。逆に卸売業・小売業は低い。

#### 事業所数

まんのう町	: 721 事業所
香川県	: 44,943 事業所
全国	: 5,156,063 事業所

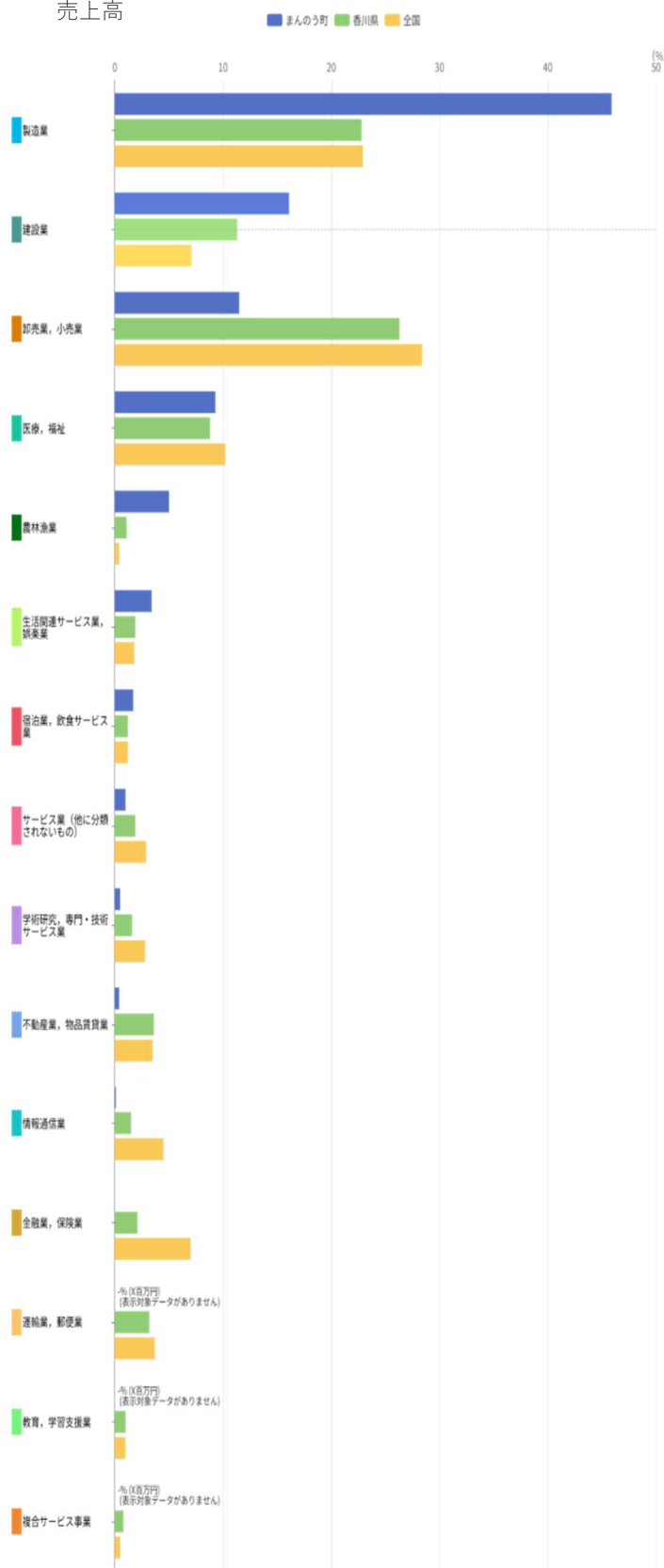
卸売業・小売業の割合が高く、次いで建設業の割合が高い。

#### 従業者数

まんのう町	: 6,188 人
香川県	: 431,667 人
全国	: 57,949,915 人

製造業の割合がかなり高く、次いで卸売業・小売業、医療・福祉の割合が高い。

売上高

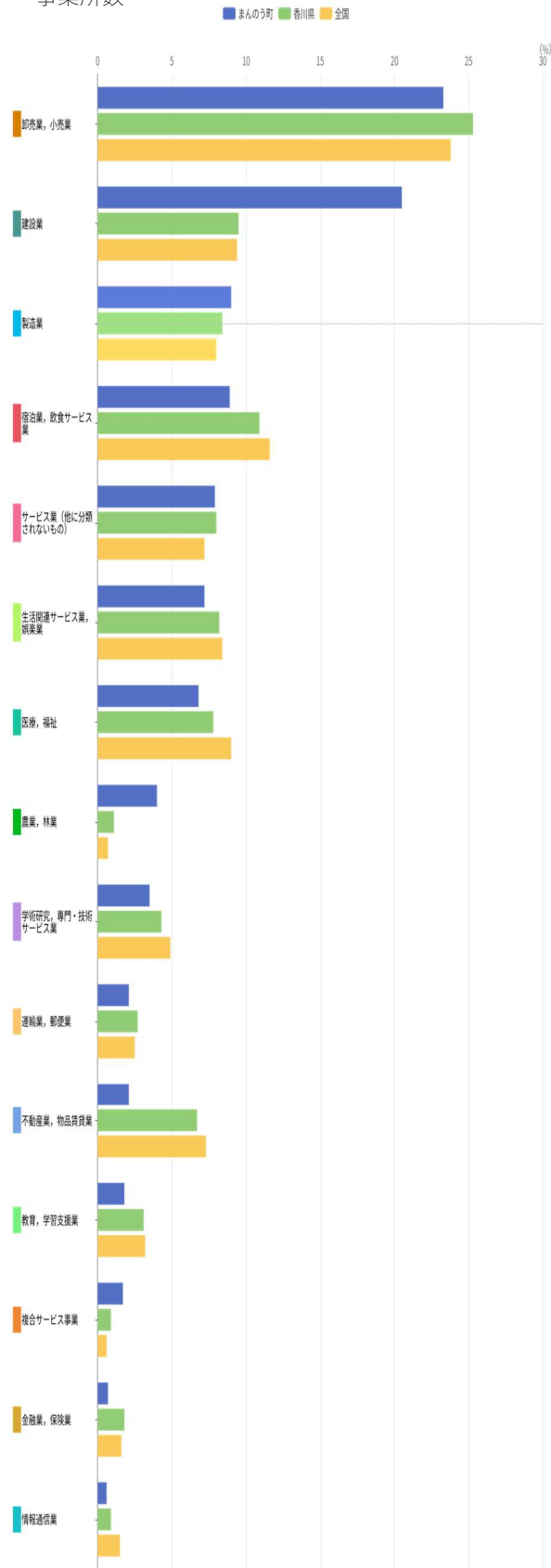


香川県まんのう町

- 製造業  
28,719百万円(45.9%)
- 建設業  
10,049百万円(16.1%)
- 卸売業、小売業  
7,218百万円(11.5%)
- 医療、福祉  
5,812百万円(9.3%)
- 農林漁業  
3,102百万円(5.0%)
- 生活関連サービス業、娯楽業  
2,122百万円(3.4%)
- 宿泊業、飲食サービス業  
1,057百万円(1.7%)
- サービス業（他に分類されないもの）  
607百万円(1.0%)
- 学術研究、専門・技術サービス業  
320百万円(0.5%)
- 不動産業、物品賃貸業  
235百万円(0.4%)
- 情報通信業  
62百万円(0.1%)
- 金融業、保険業  
29百万円(0.0%)
- 運輸業、郵便業  
X百万円(-%)
- 教育、学習支援業  
X百万円(-%)
- 複合サービス事業  
X百万円(-%)

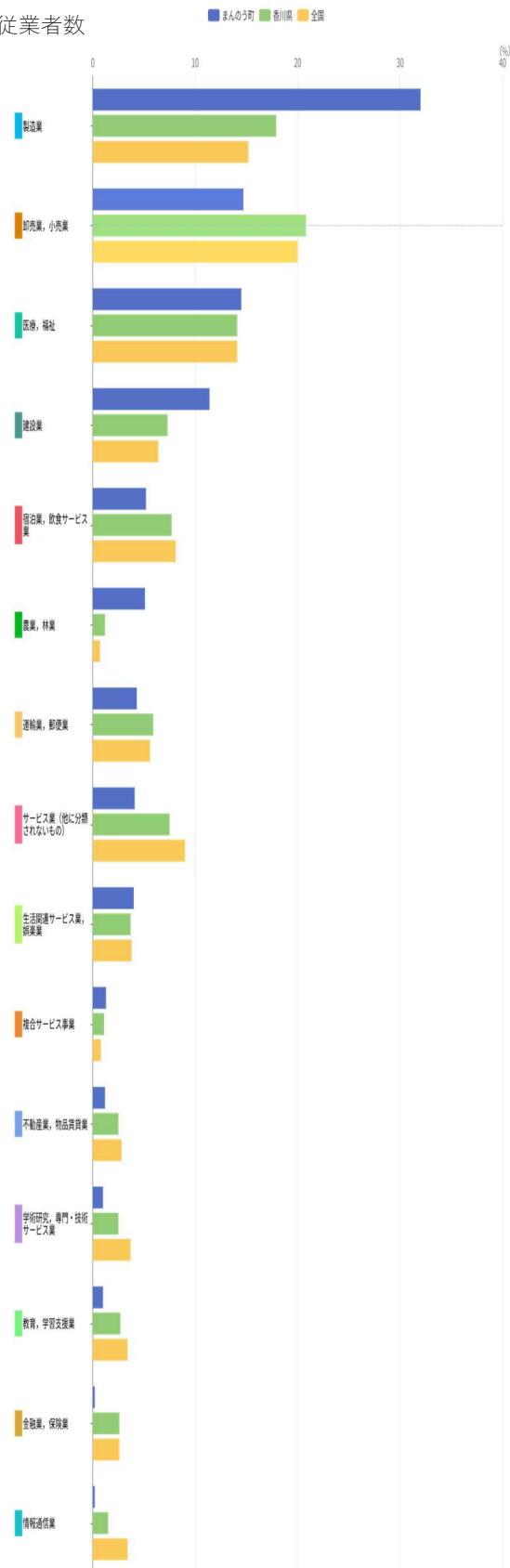


## 事業所数



- 卸売業、小売業  
168事業所(23.3%)
- 建設業  
148事業所(20.5%)
- 製造業  
65事業所(9.0%)
- 宿泊業、飲食サービス業  
64事業所(8.9%)
- サービス業（他に分類されないもの）  
57事業所(7.9%)
- 生活関連サービス業、娯楽業  
52事業所(7.2%)
- 医療、福祉  
49事業所(6.8%)
- 農業、林業  
29事業所(4.0%)
- 学術研究、専門・技術サービス業  
25事業所(3.5%)
- 運輸業、郵便業  
15事業所(2.1%)
- 不動産業、物品賃貸業  
15事業所(2.1%)
- 教育、学習支援業  
13事業所(1.8%)
- 複合サービス事業  
12事業所(1.7%)
- 金融業、保険業  
5事業所(0.7%)
- 情報通信業  
4事業所(0.6%)

従業者数

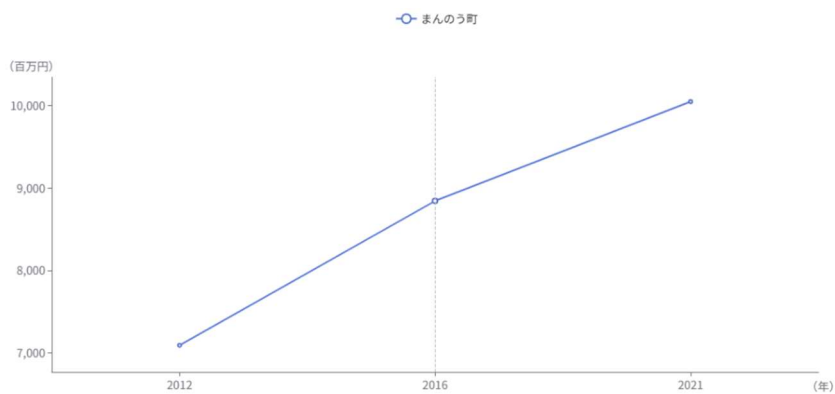


- 製造業  
1,981人(32.0%)
- 卸売業、小売業  
908人(14.7%)
- 医療、福祉  
897人(14.5%)
- 建設業  
705人(11.4%)
- 宿泊業、飲食サービス業  
324人(5.2%)
- 農業、林業  
315人(5.1%)
- 運輸業、郵便業  
265人(4.3%)
- サービス業（他に分類されないもの）  
252人(4.1%)
- 生活関連サービス業、娯楽業  
248人(4.0%)
- 複合サービス事業  
80人(1.3%)
- 不動産業、物品賃貸業  
72人(1.2%)
- 学術研究、専門・技術サービス業  
60人(1.0%)
- 教育、学習支援業  
60人(1.0%)
- 金融業、保険業  
11人(0.2%)
- 情報通信業  
10人(0.2%)

(3) まんのう町の業況：主な業種の売上高の推移（企業単位）

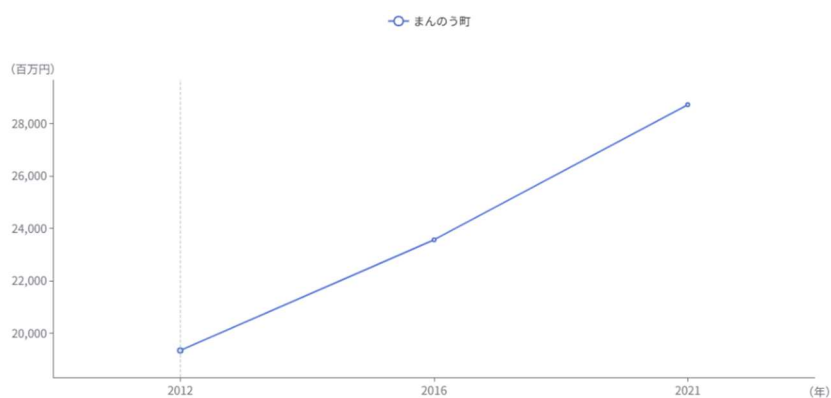
D 建設業

2012年から2021年にかけて増加傾向にある。



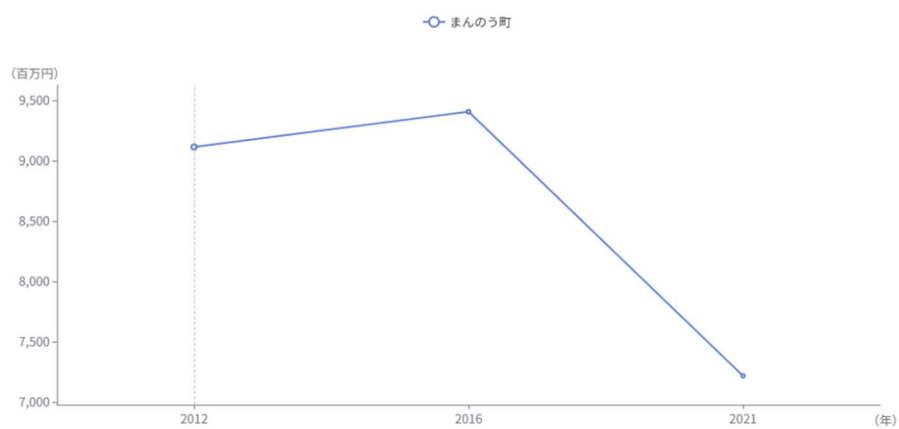
E 製造業

2012年から2021年にかけて増加傾向にある。



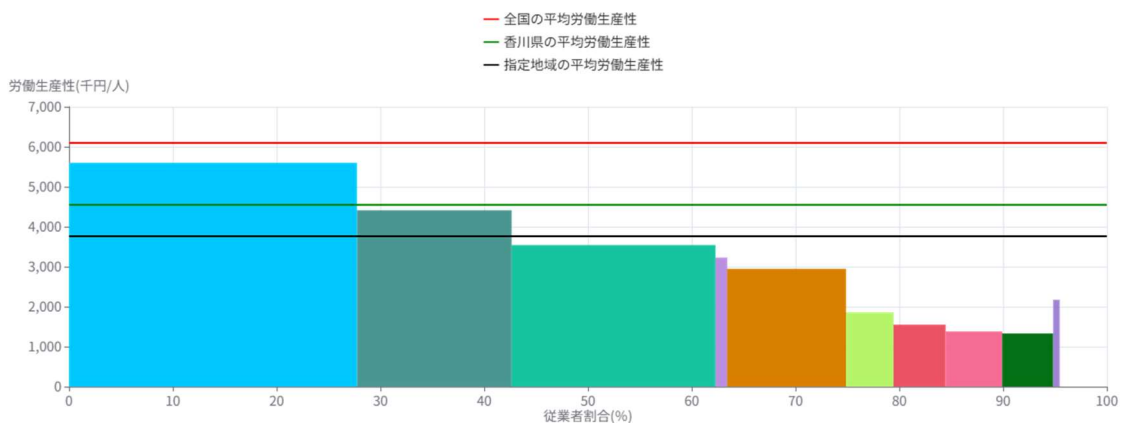
I 卸売業、小売業

2012年から2016年にかけて増加傾向にあったが、2021年にかけては減少している。



(4) まんのう町の従業者と労働生産性から見る付加価値額 2021年

全業種において全国の平均労働生産性の水準には届いていない。製造業においては香川県の平均労働生産性を上回っているが、他の業種はすべて下回っている。



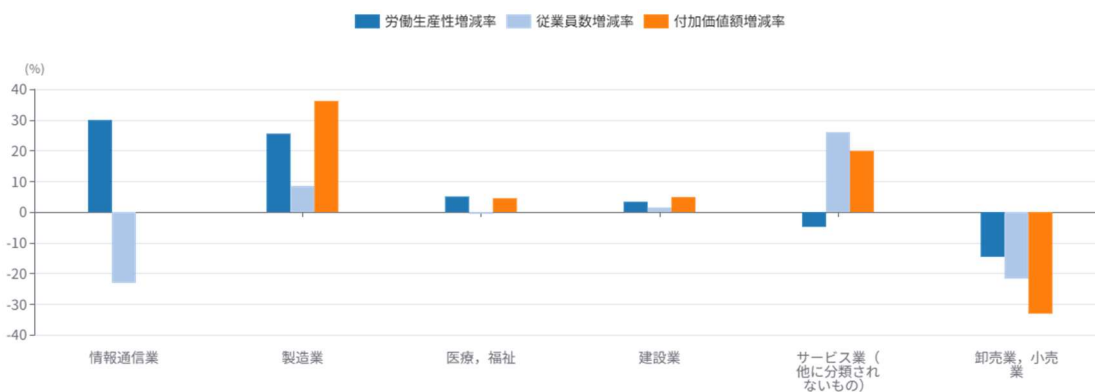
産業	労働生産性 (千円/人)	従業者割合 (%)	付加価値額 (百万円)	産業	労働生産性 (千円/人)	従業者割合 (%)	付加価値額 (百万円)
● 製造業	5,598	27.74	7,306	● 生活関連サービス業、娯楽業	1,856	4.57	399
● 建設業	4,411	14.9	3,092	● 宿泊業、飲食サービス業	1,551	5.02	366
● 医療、福祉	3,540	19.64	3,271	● サービス業（他に分類されないもの）	1,381	5.46	355
● 学術研究、専門・技術サービス業	3,226	1.13	171	● 農林漁業	1,329	4.91	307
● 卸売業、小売業	2,946	11.46	1,588	● その他	2,172	0.62	63

「その他」に含まれる産業、データを秘匿・欠測している産業

産業	労働生産性 (千円/人)	従業者割合 (%)	付加価値額 (百万円)
情報通信業	4,200	0.21	42
金融業、保険業	1,750	0.17	14
不動産業、物品賃貸業	636	0.23	7
複合サービス事業	-	0.15	X
教育、学習支援業	-	1.04	X
運輸業、郵便業	-	3.36	X

製造業は2016年から2021年にかけて労働生産性、付加価値額ともに大きく増加しているが、医療・福祉、建設業は双方ともほとんど増加していない。卸売業・小売業に至っては双方ともマイナス成長となっている。

産業別増減率 2016年 → 2021年

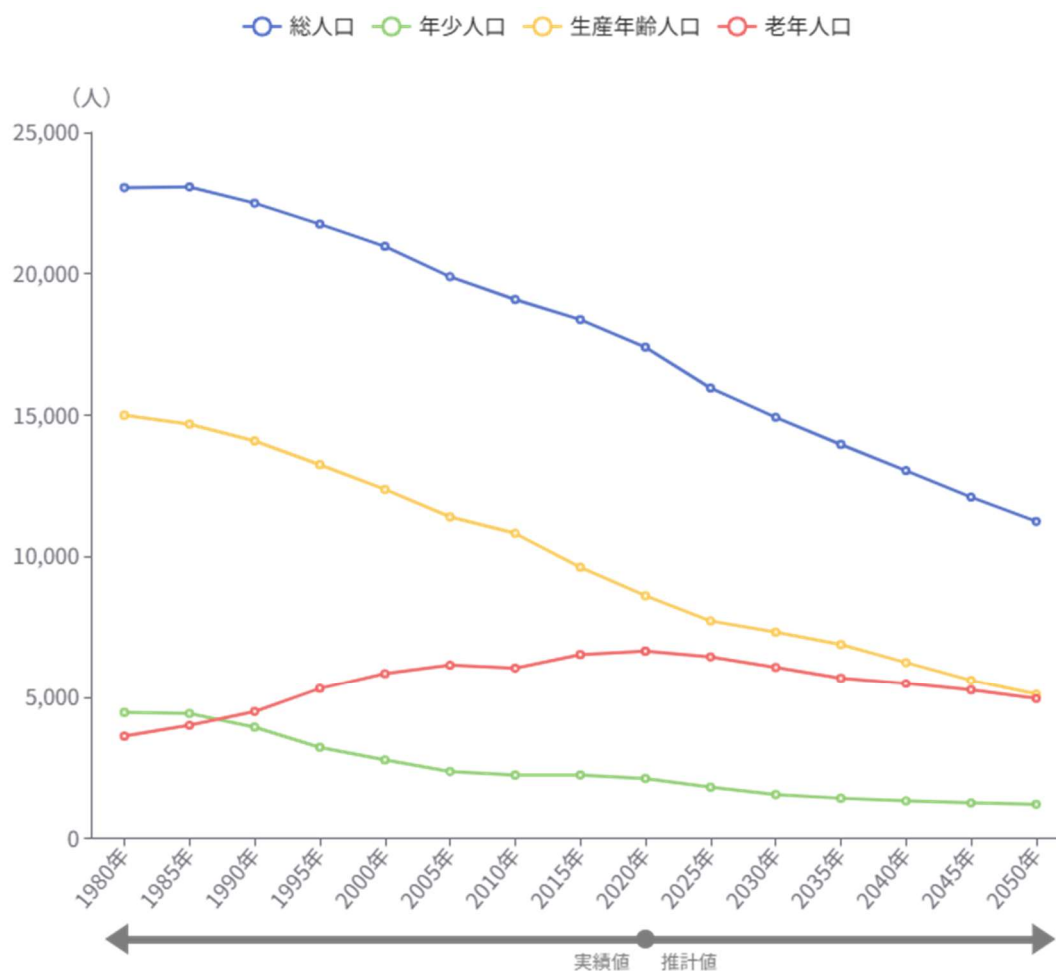


(5) 地域ビジネス環境分析

① 将来の人口増減

まんのう町の総人口は2050年には2020年に比較して35%程度減少する見込みであるが、特に年少人口が43%、生産年齢人口41%と大きく減少する見込みである。

	2020年	→	2050年	増減数	増減率
総人口	17,401人	→	11,237人	-6,164人	-35.4%
年少人口	2,111人	→	1,202人	-909人	-43.1%
生産年齢人口	8,603人	→	5,093人	-3,510人	-40.8%
老年人口	6,642人	→	4,942人	-1,700人	-25.6%

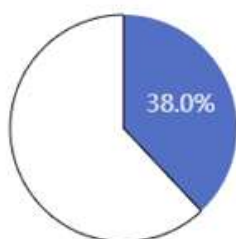


- ② 業種別の事業所数・従業者数（人口増減によって影響を受ける生活関連ビジネス）  
 人口減少によって、生活関連ビジネスの事業所数は2016年42.3%が2021年は38.0%に減少すると予想されている。

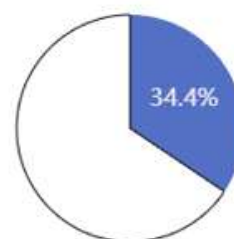
② 業種別の事業所数・従業者数  
 ～人口増減によって影響を受ける生活関連ビジネス～

	事業所数			従業者数（人）		
	2016年	2021年	増減	2016年	2021年	増減
I_各種商品小売業	1	-	-	2	-	-
I_織物・衣服・身の回り品小売業	5	3	↘	7	6	↘
I_飲食料品小売業	55	43	↘	380	427	↗
I_その他の小売業	61	57	↘	279	249	↘
M_飲食店	57	50	↘	221	197	↘
M_持ち帰り・配達飲食サービス業	5	7	↗	41	46	↗
N_洗濯・理容・美容・浴場業	57	40	↘	93	73	↘
N_その他の生活関連サービス業	7	6	↘	32	24	↘
N_娯楽業	7	6	↘	152	151	↘
O_その他の教育，学習支援業	13	13		39	60	↗
P_医療業	31	29	↘	419	408	↘
P_社会保険・社会福祉・介護事業	19	20	↗	519	489	↘
	⋮	⋮		⋮	⋮	
<b>※全産業（公務を除く）に占める割合</b>	<b>42.3%</b>	<b>38.0%</b>		<b>37.2%</b>	<b>34.4%</b>	

全産業（公務を除く）  
 に占める事業所数の  
 割合（2021年）



全産業（公務を除く）  
 に占める従業者数の  
 割合（2021年）



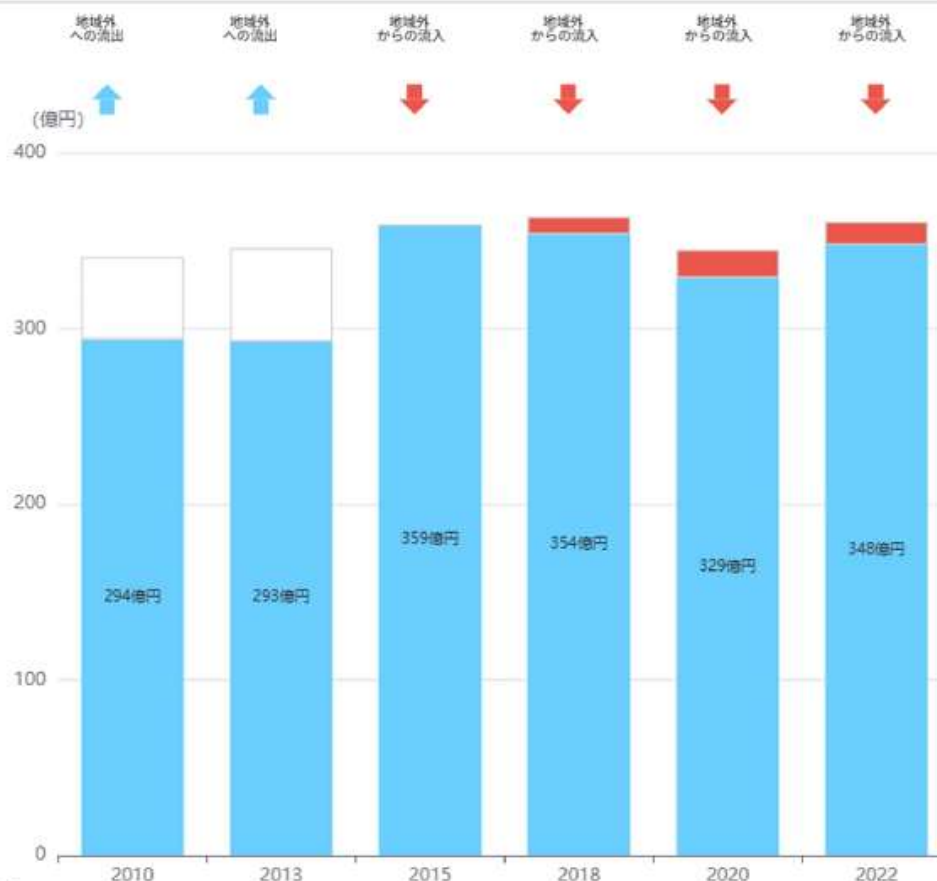
### ③ 地域住民の消費状況

2013年までは地域外への流出が多かったが、2015年以降は、地域内以外に地域外からの流入もあり、住民の所得は地域内で消費されている。

#### ③ 地域住民の消費状況

民間消費：住民の所得が地域内で消費されているか

	2010	2013	2015	2018	2020	2022	年
地域内	294	293	359	354	329	348	億円
地域外（流入/流出）	-47	-53	0	10	16	13	億円
支出流出入率	-13.9	-15.3	0.0	2.7	4.9	3.7	%



グラフの色について

- 水色：域内で消費された金額を表します。
- 赤色：域外から流入した金額を表します。
- 白色：域外へ流出した金額を表します。

以上